

ロボカップ世界大会参加報告



電気工学科 教授 別府 俊幸



ロボカップは1997年より毎年開催されているロボット競技会です。2050年の人間のワールドカップチャンピオンチームに、ロボットチームが挑んで勝つことを目標に、世界中の大学で研究が続けられています。松江高専スサノオ・ロジックスは、2013年オランダ/アイントホーフェンで開催された大会に初参戦しました。

スサノオ・ロジックスは、ロボカップの中のSSL (Small Size League) に参戦しています。SSLは直径18 cm、高さ15 cm以内のロボット6台対6台で、8 m×6 mのフィールドの中、オレンジ色のゴルフボールを巡って試合を繰り広げます。ただしロボコンと異なり、ロボカップのロボットは、人間が操縦しません。完全に両チームのコンピュータの指令の下、ゲームが進行します。

SSLにはブラジル、カナダ、中国、コロンビア、ドイツ、イラン、日本、パキスタン、タイ、トルコ、アメリカの11カ国から20チームが参加。予選リーグは、各5チームの

4リーグに別れての総当たり戦でした。スサノオ・ロジックスのAリーグは、2012年優勝のタイのKasetsart大学、ベスト8のイランのQazvin I. Azad大学、そしてアメリカのジョージア工科大学、ドイツのエランゲン大学の5チームでした。結果は、2強にはいずれも0-9とボロボロにされましたが、下位の2チームとはドローに持ち込みました。

世界の大学チームと英語で渡り合い、学生には、たいへん実りある経験となりました。スサノオ・ロジックスは、2014年のブラジル大会にも出場承認を得ています。初勝利、決勝トーナメント進出を目標にロボットおよびプログラム開発を続けています。

最後になりましたが、この大会参加に際して、学生の活動経費として同窓会より補助金を頂きました。心よりお礼を申し上げます。引き続きご支援とご声援をよろしくお願い致します。



松江高専スサノオ・ロジックスのロボット



対戦チームの皆さんと記念撮影

編集後記

先月14日に開催された本会総会の交流会。代議員を代表して第1期C科卒の小村裕司さんに開校当時の学校の様子をお話いただきました。当時の学校はあちこちが工事中で、雨が降ると敷地はぬかるみだらけ、授業中でもブルドーザーなど重機の音が響き渡り、そのような環境でも、いままさに造り上げられる学校と高度経済成長の中で入学した自分たちを重ねながら、高い志を抱いて学校生活を送られていたそうです。今年で母校は創立50周年を迎えました。ぜひ会員の皆様には10月12日のホームカミングデーと卒業生交流会にご参加いただき、在学当時と現在の母校やご自分の姿を比較しながら、これから50年、世界、日本、地元における母校の役割、あるべき姿について語っていただけると幸いです。(M)

事務局より

◆平成26年度代議員総会の開催について

今年6月14日に今年度の代議員総会が開催されました。多久和正司会長のあいさつに続き、議長として鳥谷定男さん(9期・機械)を選出し、議事が進められました。今回の総会では、昨年度の活動内容と決算の報告、今年度の活動計画と予算などの他に、本会の会則改正についても審議され、賛成多数により、全ての議案は承認されました。総会の様子や改正された会則などの詳しい説明は、近日中に本会のホームページにて掲載いたします。

◆クラス会の情報提供について

会員の皆さんのクラス会を本会のホームページや会報で紹介したいと思っています。情報をご提供頂ける方は、その会合の様子を説明した文章(200~300字程度)でまとめて頂き、会合の写真(1、2枚)とともに事務局までお送り下さい。お待ちしております。

松江工業高等専門学校

同窓会 会報

復刊
第4号

2014.7.11発行

同窓会事務局

〒690-8518 島根県松江市西生馬町14-4 松江工業高等専門学校内
TEL: 0852-36-5111 FAX: 0852-36-5119 E-mail: m-soumu@matsue-ct.jp
<http://www2010.matsue-ct.ac.jp/dosokai/>

ご挨拶

松江工業高等専門学校同窓会 会長(10期・土木) 多久和正司



今年の島根県は昨年とは違い今のところ大きな災害は発生していませんが、会員の皆様がお住まいの地域ではいかがでしょうか。

私たちの母校松江高専も創立50周年の節目の年を迎えました。1期生の皆様は松江高専と等身大で50年の年月を重ねてこれ、若い世代の方は歴史として感じながら今日に至っていると思います。11月1日の記念式典に先立ち、10月12日にホームカミングデーと卒業生交流会を予定しています。母校の様子もずいぶん変わりました。この機会にぜひご覧いただくとともに、同窓会を企画する等していただければ意義ある卒業生交流会になるのではないかと期待しています。

さて、去る6月14日に代議員総会を開催しました。すべての代議員の方と連絡をとることが難しい状況で、数年間開催できず、この間理事会の専決で本会の運営をしてきておりましたことは、本来の姿ではなく、会員の皆様に心よりお詫び申し上げます。毎年総会を開催する努力を続けてまいりますが、やむを得ない事情で開催できない場合にも本会の運営に支障を来さないよう規約の改正をご提案し、代議員の皆様へ承認いただきました。また、会員数も7,000名を超え、会報の送付等通信連絡費で年間予算の多くを費やす状況になっていることから、新規会員の皆様の負担増になり誠に心苦しいところではありますが、終身会費の値上げ改正もさせていただくこととしました。

今後とも会員に身近な同窓会になるよう努めてまいりますので、何卒ご理解とご支援をお願いします。

これまでの50年、これからの…

松江工業高等専門学校 副校長(教務主事・18期・電気) 原 元司



今年度より教育担当の副校長(教務主事)を担当することになりました情報工学科の原です。この度は学校を代表してご挨拶させていただきます。ご存知の方もおられると思いますが、私自身電気工学科OB(18期)です。自分の身の丈を超えた役職を仰せつかることになり、戸惑いの日々を送っています。

さて、本校は今年で創設50周年を迎えました。創設時の校風は時代と共に変化してきているとは思いますが、「地域にとってなくてはならない学校」として今日を迎えられたことを教員一同大変うれしく思っています。これも地域や同窓生の皆様の支えがあればこそ、です。

しかし、松江高専はかつて「学生指導がいい加減な学校」という悪い評価を地域から受けていました。この状況を受

け、ここ10年ほどで教員の意識改革が大幅に進んでいます。今では「(ま)学んで(つ)創れる(え)エンジニア」という教育目標のもと、3年生までではできるだけ高校と同じ指導をする、といった工夫を行っています。この成果かどうかはわかりませんが、全国高専の3年次に実施される数学、物理の学習到達度試験の結果は、このところ全国平均を上回ります。松江高専の入学試験の成績が全国平均よりもかなり低いことを考えると、本校の基礎教育の充実ぶりは誇るべきことだと思っています。

「組織の改革には、よそ者、若者、馬鹿者の三者が必要である」と言われます。松江高専教員は元気で、その三者が揃っています。これまでの50年をともに、時代や地域の要請に応えられるよう、10年そしてその先を目指していきたいと思っております。同窓生の皆様方には、これまでと変わらぬご指導、ご鞭撻をお願いいたします。

松江高専創立50周年記念事業について



松江高専・校長特別補佐(50周年記念事業担当)
人文科学科 教授 黒田 祐一

松江高専の黒田です。いよいよ今年度、松江高専は創立50周年を迎えることになりました。この場をお借りして、同窓会の皆様に記念事業の概要をご紹介します。

まず学生向けの事業として、9月26日(金)の午後、本校第一体育館で1～3年生を対象とした演劇鑑賞会を実施します。演目は東京演劇集団・風によるシェークスピアの「ハムレット」です。本校では日頃、芸術鑑賞等の行事がありませんので、在校生に50周年の特別な年だということを感じさせる機会になればと思います。また高専祭の初日、10月11日(土)の午前に淑徳大学教授・工学博士の北野 大氏による記念講演会を行います。テーマは「安全・安心な社会を目指して」です。北野氏はビートたけし氏の兄で、化学を専門とし、環境に関する造詣も深い方です。

また同窓会の皆様方には、高専祭2日目の12日(日)の午後にホームカミングデーを予定しています。長年、本校の教員を勤められた数学の岡本先生・化学の東原先生・保健体育の河原先生による講演や、校内をめぐるキャンパスツアーを企画しています。本校ではこの10年あまりの間に建物や施設がいろいろ更新されております。新しい女子寮が建つとともに、開校当初からあった直野寮1号館が取り壊されました。3階にあった合同講義室がなく

なって教室になったり、数名の教員が入る大部屋形式の教員室ができたりと、外観はそのままですが中の方はかなり様変わりしています。高専祭の展示やイベントも変わり、昔のままなのは模擬店のメニューくらいかもしれません。しばらく本校にご来校されていない方は、是非、この機会にお越し下さい。当日の夜にはサンラポーむらぐもで卒業生交流会も予定されていますので、合わせてご参加いただければと思います。

対外的な公式行事といえる記念式典および祝賀会は11月1日(土)にホテル一畑で行います。文部科学省や高専機構、地元自治体、産業界をはじめ、同窓会・後援会の代表者の方々をお招きし、教職員のほか学生代表も出席して実施いたします。このほか、卒業生からのメッセージを収録した50周年記念誌の刊行や、50周年記念テクノセンターの整備を行う予定です。在校生も50周年記念のロゴマーク(右上)のデザインや記念品のデザインで協力しています。

こうした記念事業を通じて、現役の学生諸君には先輩方が築いた50年の伝統と誇りを感じてもらえればと思います。同窓会の皆様方には懐かしい母校の50年を振り返るとともに現在の高専の姿をご覧いただき、未来へ向かう松江高専をこれからも温かく見守っていただければと願っています。

学生会活動



平成26年度学生会顧問 武邊 勝道

今年度も5月に学生総会が開かれ、平成26年度の活動方針および学生会予算が決まりました。平成26年度の学生会の活動テーマは、松江高専が創立50周年を迎えること

をふまえて、「For you. For your Futuer～明日の技術を磨く 50th～」となりました。このスローガンには、「松江高専創立50周年を記念するとともに、学生会執行部と学生一同が、初心を忘れること無く、自分たちの将来のため学校で学ぶ技術を磨いていこう」という思いがこめられています。

ここ数年の学生会活動では、定例行事として行われるスポーツディ、高専祭、体育祭などの学生会イベントに加えて、若い学生の感性を活かした様々な新しい試みが進められています。例えば、平成25年度の学生会では、松江高専学生会の公式ゆるキャラが制作されました。キャラクターデザインを学生から公募して、その最優秀作品を

もとに、「インダストリ」が誕生しました。「インダストリ」には、高専祭などのイベントで実際に会うことができます。また、松江高専ガイドやオープンキャンパスの案内ビラへの出演も多数しており、様々な場面で活躍しています。今後もどんどん活躍してくれそうです。

学生会活動の情報発信の方法も時代とともに新しくなって来ています。紙媒体を用いた学生会新聞だけでなく、ホームページ(<http://www2.matsue-ct.ac.jp/g-kai/index.html>)や(<https://twitter.com/MctGakuseikai>)を通して、学生会活動や学生の様子などを広報しています。ぜひ、のぞいてみて頂けると幸いです。

学生会活動は、学生の力だけでなく、松江高専後援会や松江高専OBの方々の応援を得て成り立っています。今後も、学生会の執行部員が中心となり、個々の学生の力を引き出しつつ、学生会活動を充実させていきたいと頑張っています。今後とも、よろしくお願い致します。



平成25年度の高専祭(「学びの庭」のイベント)



「インダストリ」と平成26年度学生会執行部

松江高専でホームカミングデー2013を開催

昨年10月13日(日)、本校にて卒業生をお迎えするホームカミングデーを開催しました。これは松江高専の主催により、来年実施する学校創立50周年記念事業のプレイベントとして高専祭にあわせて開いたもので、卒業生、教職員など40名が参加しました。この日は、約1時間のキャンパスツアーに続き、本校名誉教授の河原健次先生(元体育科・ラグビー部顧問)による講話とティーパーティー、最後に参加者で記念撮影を行いました。



河原健次先生による講話



参加者の皆さんで記念撮影

